

特定非営利活動法人 日本消費者連盟 御中

2024年4月19日
小林製薬株式会社

2024年4月3日付にて拝受いたしました「紅麴食品に関する公開質問状」につきまして、下記の通りご回答申し上げます。

記

1. 紫外線処理による生産性改良後の遺伝子及び実生産において、シトリニンを産生しないことを確認しております。
2. 弊社製品の製造に使用している菌株にゲノム編集技術は採用しておりません。
3. 従前は他のカビ毒の産生能については調査しておりませんでした。本件を受け、カビ毒（総アフラトキシン、オクラトキシン（A、B）、デオキシニバレノール、ゼアラレノン）を分析し、非検出であることを確認いたしました。
4. プベルル酸は想定していない成分であり、プベルル酸産生能について事前には調べておりません。
5. この間どのような確認や検討等のプロセスを経て公表するに至ったのか、弊社にて検証作業を進めております。また、厚生労働省主導で行われている原因究明に貢献すべく、同省に対して引き続き必要な情報提供を行いつつ、再発防止に努めて参ります。ご迷惑をおかけした皆様には、誠心誠意対応させていただく所存です。
6. 弊社としましても、健康を維持するうえで最も重要なのは栄養バランスの良い食事であると考えております。その上で、必要な方が補助的な役割として健康食品を摂取することは健康増進に役立っていると考えております。

以上